

『第6期中央区自立支援協議会』

障害者(児)サービス部会

報告書

平成31年2月

## 委員名簿

役 職	氏 名	所 属 団 体
部会長	小林 哲	レインボーハウス明石 施設長
副部会長	高橋 厚之	ポケット中央
委員	前場 京子	中央区心身障害者・児福祉団体連合会 副会長
委員	中村 れい子	中央区民生・児童委員協議会
委員	濱川 浩子	区民公募
委員	天野 八千代	区民公募
委員	鈴木 茂樹	中央区障害者就労支援センター
委員	渡辺 美恵子	中央区立福祉センター 基幹相談支援センター
委員	佐藤 勝	区職員（福祉センター支援係長）

計9名

## 部会のテーマ・検討内容

「障害のある方の地域での生活を支援するためのサービス及び支援体制について」（サブテーマ【地域生活を支えるための基幹相談支援センターを中心とした相談支援体制の充実と果たす役割】）をテーマに、委員の皆さんの意見を伺いながら、どのようなサービス・支援を受けることにより、地域での生活を続けていくことが出来るのか、どのような形での支援が必要なのか、部会において検討を進めていく。

また、区として「地域生活支援拠点等整備」についてこれから整備を行っていくが、当面は、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための5つの機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受入・対応、専門性、地域の体制づくり）を地域の実情に応じて創意工夫し、今ある資源をつなげて体制を作っていく面的整備を進めていく。

地域で自立した生活をしていく上で、重要な仕組みとなることから、サービス部会としても、今期の部会で引き続き検討を行っていく。

## 開催日時・議題

開催回	開催日時	開催場所	議題
第1回	平成30年 7月11日(水) 15時00分 ～17時00分	福祉センター2階 食堂	① 副部会長の選任 ② 第6期の部会運営について ③ 中央区地域拠点の整備について
第2回	平成30年 11月15日(木) 15時00分 ～17時00分	福祉センター3階 第2会議室	① 前回の議事内容の確認 ② 今期部会の運営と検討課題の進め方等について
第3回	平成31年 1月31日(水) 15時00分 ～17時00分	福祉センター3階 第2会議室	① 事例の検討 2事例について検討 ② 次回の部会の検討事案について

## [平成 30 年度部会まとめ]

### 第1回部会

部会長、副部会長、各委員の紹介、今期の部会のテーマの確認と今後の部会の進め方について確認を行った。

また、地域生活支援拠点等整備について区より説明があり、当部会でもテーマに関連する制度となることから、必要に応じて意見提案等を行っていく。

#### (1) 今期部会の検討課題と部会の進め方について

- ・計画相談を担当する相談支援専門員が、障害のある方の地域生活のための必要なサービスを考え、組み合わせて計画を作成し、地域での生活を支援しているが、その相談支援専門員が支援に当たり、困っていることを部会で取り上げ、できれば解決策まで見出せるよう議論、検討を進めていくこと。サブテーマは、「地域生活を支えるための基幹相談支援センターを中心とした相談支援体制の充実と果たす役割」として進めていくこと。中央区の地域づくりの意見交換や議論をしていくことについての確認を行う。

#### (2) 地域生活支援拠点等整備について

- ・本区においては、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、地域生活支援拠点等整備における居住支援のための5つの機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受入・対応、専門性、地域の体制づくり）を地域の実情に応じて創意工夫し、今ある資源をつなげて体制を作っていく面的整備による拠点等整備を行うこと。また、今後、多機能型による地域生活支援拠点等整備の準備も進めていくとの説明があった。

### 第2回部会

前回の議事内容の確認、地域生活支援拠点等の役割の確認と他自治体で実施している地域生活支援拠点等整備についての事例検討、厚生労働省が公表している地域生活支援拠点等の好事例集の紹介、事例から中央区の支援体制について、部会の役割を改めて考える等について、それぞれ意見交換、議論を行った。

#### (1) 事例検討（小田原市地域生活支援拠点等整備の事例）

- ・精神障害を持つ方が、地域生活支援拠点等の支援を利用し、病院退院後にグループホームと通所サービスを利用した事例を参考に、中央区の現状に照らして利用できる支援、不足している支援等について、意見交換を行う。

#### (2) 地域生活支援拠点等整備の理解のための好事例の紹介

- ・拠点等において実績を挙げている事例から支援内容等について学ぶ。事例では、医療的ケア者の対応に高齢者施設を利用する（緊急一時、体験）、ショートステイとグループホームの空き情報の検索、事前登録制による緊急一時利用、居宅へ出向いての自立支援サポート等の紹介があった。好事例集に掲載されている他自治体で実施されている仕組み、実施方法等を参考に今後も検討していく。

- 好事例の紹介後に、中央区の支援体制と照らし合わせて、中央区の強み等について検討。中央区は、サービス等利用計画は100%作成されていることで、必ず相談支援が入り支援を受けていること、障害を持つ方への個々の対応が細やかに行えていることが強みである。
- また、緊急時の対応を含め、基幹相談支援センターがコーディネートし相談支援事業所や関係機関・事業所が役割を担って動くことが、地域での支援を行うベースとなる。そのため、ネットワークづくり、地域づくりが大事であり、基幹相談支援センターを中心に、各事業所等がサポートするようなネットワークが必要である。

### 第3回部会

前回の部会時に、相談支援事業所の相談員が中央区で障害をお持ちの方と関わり支援する上で困っていることを取り上げ、部会の中で解決に向けて協議、検討していくこととなったため、地域活動支援センターポケット中央と中央区障害者就労支援センターの事例を挙げて検討を行った。

#### (1) 地域活動支援センターポケット中央（ポケット中央の支援の現状等）

- うつ病、統合失調症、発達障害等の方が相談に来ており、1つの障害だけでなく複数の障害を持った方が多く、支援が難しい方が増えている。（医師により診断名が違ってしまいうこともある）。
- 子育て世帯が増え、育児支援を支援が必要なケースが多くなり、既存のサービスではニーズと合致せず支援が難しいケースが多々出てきている。

#### <事例検討>

「本人が母で、家族を含むサービスを必要とする精神障害を持つ方について」

課題：子どもの送迎を受けてくれるヘルパー事業所の確保が難しい。

家事援助を依頼したいが、業務内容が不明確になりがちで（部屋の掃除範囲の区別が曖昧になる等）事業所に断られてしまう。

- 障害をオープンにするか、クローズにするかにより支援や対応が変わること。
  - ヘルパーの利用について、家事援助では報酬面や求められる業務内容（身体介護になる支援ものもある。）により敬遠、躊躇する事業者があり利用が難しい現状がある。
  - 有料（ファミリーサポート等）か、無料かでサービスの利用状況が変わる。  
家族の支援力をあげる働きかけも相談支援では必要。また、地域の人と人との繋がりを活用した支援を使えるよう原点に戻った考え方をしていくのはどうか。
- 例) 同じような境遇の家庭でお互いの家族を見合えるような関係作りの仲立ち  
お金や手続きが必要なく、立ち寄れて話をする事ができる家等
- 子どものサポートについては、区の事業である育児支援ヘルパー（子ども家庭支援センター）の利用、子どものケアも兼ねている民生・児童委員に相談する方法がある。

## (2) 中央区障害者就労支援センター

### 中央区障害者就労支援センターの概要・現状

- 中央区内の障害を持った方(手帳の保持に限らず)やその家族についての支援、障害者雇用に関わりのある企業やこれから障害者雇用をしたい、またはすでに雇用しているが上手くいっていない企業等へ支援を行っている。
- 現在、企業からの求人はあるが、就労準備性が整っている方が少なく、紹介しても途中で辞めてしまうなど、職場定着が難しい現状がある。

### <事例検討>

#### 「ひきこもりの居場所をどうしていくか」

課題：働くことの必要性を感じられないため、通うところもなく、あまり地域との関わりが持つことができていない。

- 働くことの必要性を感じていない方が多いが、食べることなどその方の興味があることで、地域に出ることができるような居場所がたくさんあると良い。
- 中央区サロンマップ(中央区社会福祉協議会作成)にもあるが、中央区には高齢者や子育ての方と比べて障害のある方が集える場所が少ないことが課題であり、居場所づくりが必要である。
- 就職することだけに焦点があたり、なぜ自分が就職するかの意識や基本的な生活習慣等が抜けていることから、特別支援学校在籍中や卒業後に働くことの意義や生活習慣について関わりを持てるような仕組みづくりが必要である。

### 平成31年度について

- 本部会のテーマは、地域で安心して生活するために、どのようなサービスを利用したらよいのか、どのような支援が必要なのかを事例検討等を通して検討していく。
- 支援の検討にあたり、地域生活支援拠点等整備について、他の地域で実際にサービスを行っている事業所見学をしていきたいと思う。もしくは事業担当者による事業紹介を部会の取り組みとして行い、実際例を知ることで、中央区における障害者の地域生活のための支援等についての検討の参考にする。